

動労千葉 2周年記念レセプション 盛大に開催



銚子支部結成をもって、遂に全11支部の確立を成しとげた動労千葉は、向いの真只中で2周年を迎えた。更なる80年代の発展を期す。

日刊 動労千葉

81.7.31

No. 808

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五・六(公衆)四三三三・七二〇七

動労千葉結成二周年記念レセプションは、昨日(29日)16時すぎより国鉄千葉駅ビルにおいて、各界からの来賓・各支部代表など約百三十名の参加を得て、盛大に開催されました。このレセプションには、県労連・社会党県本部・県内・県外各労組・三里塚反対同盟および千葉県選出の社会党衆参両議員・県会・市会議員、更には動労千葉顧問弁護団等、多数の来賓の方が激励にかけつけてくれました。

実行委員の司会のもと、中野書記長の開会あいさつに続いて、奥川委員長が「動労千葉は、管内十一の取場に全て支部を確立し、そして今日、権力・動労本部」一体となった「6.12」弾圧粉碎の向いの真只中で、結成二周年を迎えました。苦難の中で、一歩一歩勝利、前進してきた2年向です。獄中で、今も完結で向いぬいている仲間としっかりスクラムを組んで、今後も立ち向いぬいていこう」と力強くあいさつしました。

続いて、各界から激励のあいさつを受け、奥川委員長の前頭でなごやかな交歓会にうつりました。

引き続き来賓の方々からあいさつを受け、最後に、宮崎銚子支部長を先頭に全十一支部長が決意表明、そして、現在、船橋署からの不当な任

責、出頭命令攻撃と向っている四名の仲間から、それぞれ「六名の仲間と連携して完結で断固向いぬく。動労千葉千三百名を代表して向いぬくつもりです」との力強い決意表明を受け、組合歌合唱、団結ガバロー三唱をもって、18時半すぎ、終了しました。

各界来賓あつちの中

いつも明るく力強く向う

動労千葉 清水事務局長

動労千葉は様々な厳しい弾圧をうけながら向いぬいている。しかし、いつも明るい表情で力強く向っている。これは本場の団結をもち、仲間を信じ、組織を信じて一人一人が向っているからだろう。いつも感じさせてくれている。……今問題になって

いる労戦統一も、ただ数を集めればという様なのはため、動労千葉のように向う内容をもった団結でなければならぬ。弾圧に打ちかかっています。御発展を祈ります。(要旨)

80年代を象徴する今回

今回の攻撃は、まさに80年代を象徴するような攻撃だと思えます。こういう時代にこそ労働者の団結を強めねばなりません。いつも力強く向うておられる動労千葉の皆さんに牽引されながら私たちが教祖もこの反動と向うていきたいと思えます。(要旨)

全国的支援運動もり上げ

あくまでも動労千葉を守る

三里塚反対同盟・北原事務局長

六名の同志への攻撃は、動労千葉が三里塚・ジェットを向うているが故の、極めて政治的な弾圧であり、反対同盟への組織破壊攻撃激化と軌を一にする二期強行攻撃そのものだ。権力と手を組む革マルの攻撃も、そこに本質がある。絶対許せない。全国的な支援基金運動を更に大きく盛り上げて、支えていく。(要旨)

山椒は小つづでも、バリと辛い。動労千葉も

衆議院議員・小川国彦氏

動労千葉は、様々な組織破壊攻撃を受けながらも、逆に組織を増やし、強化しながら節をまげず向いぬいてい

る。更に立派だ。山椒は小つづでもバリと辛い、というが、動労千葉も今日の日本の労働運動界にあつてバリと辛い山椒の役割を充分に果たされます。健闘されん事を祈ります。(要旨)

六名の完結非戦向の向い

動労千葉顧問弁護団・菅野

動労の顧問弁護団の一員だった私は、動労千葉独立と共、私も独立し、自分と共に向ってきた。当初、四〇〇名で独立して組織がもつたろうかと思っていたがこの二年向の実績は、立派にやりぬけることを証明した。うれしい限りです。今回、六名の不当逮捕・勾留が、動労本部の告訴によって行われた。総評に属する組合がかつて、こんな「告訴」しかもデッチ上げで、一をしたことがあつたらうか。怒りに耐えない。六名の皆さんは、不当逮捕以来、10数日向、連日マッスル向の厳しい検事の取調べに完全黙秘で向っている。この向いこそ動労千葉の向いです。動労千葉は、この向いを通じて、もう一回り大きく、強い組織になることを信じています。(要旨)